

UBE

ビジネスレポート Vol. 7

2015年4月1日 ▶ 2016年3月31日

技術の翼と革新の心。

Wings of technology and spirit of innovation.



元乃隅稻成神社(山口県長門市)

Contents

1 トップメッセージ

2-3 トピックス

新中期経営計画 ほか

4 連結業績ハイライト

裏表紙 会社情報・株式情報

宇部興産株式会社

証券コード 4208

“ビジネスレポート”をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当期の経済情勢は、米国では回復が続き、欧州でも緩やかな回復基調で推移し、アジアでは中国において景気に減速感が徐々に強まってきたものの、世界経済は全体として緩やかな回復が続きました。国内経済は、輸出など一部に弱さもみられましたが、個人消費が総じて底堅い動きとなり、企業部門に改善の動きがでるなど、緩やかな回復基調をたどりました。

このような状況の下、当社グループは、2013年度から3ヵ年の中期経営計画「Change & Challenge - 更なる成長に向けて -」の基本方針に基づき、その最終年度として、化学部門の早期収益回復をはじめ、各事業課題の解決に向け取り組んでまいりました。当期においては、石炭・原油等原燃料の価格低下などの下支えもあり、建設資材など非化学部門は概ね順調に進捗し、化学部門においても一定程度の回復を果たしましたが、近年収益性の低迷が続いている事業について減損損失を特別損失に計上しました。

この結果、当期における当社グループの連結業績は、売上高は前年並みでしたが、営業利益、経常利益、当期純利益ともに増益となりました。

なお、当期の期末配当は前期と同じ1株につき5円とさせていただきます。

当社グループは、10年後のありたい姿「顧客に価値を創出し続ける企業」の実現に向けた3ヵ年の行動計画として、2016年度を初年度とする中期経営計画「Change & Challenge 2018」を開始しました。

当計画では、徹底したコストダウンや国内外グループ会社の連携深化により、顧客に提供する価値の増大とともに当社グループ各部門の収益力向上を推進し、特に化学部門における業績回復に注力してまいります。

さらに、当社グループは、公正な企業活動や社会的責任を果たすための活動を推進し、経営理念である「共存同栄」の精神の下、社会との共生を目指し、株主や資本市場をはじめ、顧客・取引先・従業員・地域社会等、すべてのステークホルダーからの信認を深めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

山本 謙

UBEグループビジョン

UBEグループは「共存同栄」「有限の鉱業から無限の工業へ」という経営理念を踏まえ、右記のグループビジョンを掲げ、化学を中心とした独自技術で未来の価値を創造しています。

技術の翼と革新の心。
世界にはばたく私たちのDNAです。

フロンティアスピリットを胸に、
無限の技術で世界と共生するUBEグループは、
モノづくりを通して、次代の価値を創造し続けます。

「Change & Challenge 2018」

基本方針

- ▶ 持続的成長を可能にする経営基盤の強化
- ▶ 資源・エネルギー・地球環境問題への対応と貢献

数値目標・ターゲット指標

項目および指標		2015年度実績	2018年度目標
主要項目	営業利益	414億円	500億円
	経常利益	396億円	490億円
経営指標	売上高営業利益率(ROS)	6.5%	6.5%以上
	自己資本利益率(ROE)	7.2%	9.0%以上



2015年度 トピックス一覧

- 2015**
 - 4月** 化学部門を統合し、「化学カンパニー」へ
 - 5月** 高分散性ストロンチウムナノ粒子を新開発
 - 8月** マレーシアで合成ゴム工場が開所式を開催
 - 9月** (株)三和化学研究所と難治性のそう痒症治療薬に関する共同開発を開始
 - 9月** セパレータの設備増強を決定
 - 9月** 石灰石骨材の20万トン増産を決定
 - 10月** タイでPCD新工場が稼働開始・・・**1**
 - 11月** 宇部エクシモ(株)、先端繊維研究所を設立(福島県郡山市)
 - 12月** 宇部興産機械(上海)有限公司が大型ダイカストマシンUB1650iVの出荷を開始
- 2016**
 - 1月** 荏田セメント工場で排熱発電設備が稼働開始・・・**2**
 - 1月** カプロラクタム中間原料の製法転換を決定・・・**3**
 - 2月** 宇部マクセル(株)の「高機能・塗布型セパレータ」がトヨタ4代目「プリウス」に搭載・・・**4**
 - 3月** 中国電力(株)と3回目の海外炭共同輸送を実施
 - 3月** 中国企業と高純度DMC製造合弁会社の設立について合意
 - 4月** 石灰石関連製品事業に係る営業・物流機能を宇部マテリアルズ(株)に移管

- 化学
- 医薬
- 建設資材
- 機械
- エネルギー・環境
- 研究開発本部

1 タイでPCD新工場が稼動開始

近年需要が急拡大しているアジア市場をターゲットとして、タイにPCD(ポリカーボネートジオール)工場(3,000トン/年)を新設、2015年10月に稼動開始しました。UBEグループは世界最大のPCDメーカーであり、日本、スペインに続くタイでの稼動により、グローバル供給体制を一層強化します。ASEAN-中国のFTAによる強みを活かせる中国地域への拡販や、樹脂・塗料市場として大きな将来性を有するインド市場への本格参入に注力して参ります。



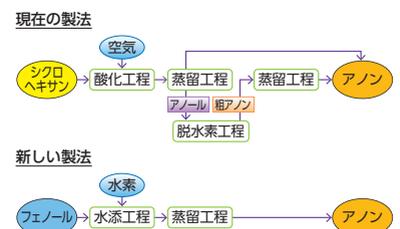
2 苅田セメント工場で排熱発電設備が稼動開始

苅田セメント工場(福岡県京都郡苅田町)で2014年6月から建設を進めていた排熱発電設備(発電能力12,650kw)が完成、2016年1月より本格稼動しました。排熱発電とは、セメントの製造工程において排出される熱を利用した発電方式です。従来も原料を温めるために排熱を利用していましたが、本設備を導入することで、より効率的に排熱を利用できます。また発電した電気をすべて工場内で利用することで、発電に伴う化石燃料の使用とCO2の発生が抑えられます。



3 カプロラクタム中間原料の製法転換を決定

宇部ケミカル工場において、カプロラクタムの中間原料であるシクロヘキサノン(以下、アノン)の製法転換を決定しました。当社では、カプロラクタムを自社内でナイロン原料として使用する量を増やし、より付加価値をつけて販売する方針と同時に、カプロラクタム自体のコストダウンも進めています。今回の製法転換により、従来法よりアノン製造のコストが削減できます。また、蒸気と電力の使用量も削減でき、CO₂などの温室効果ガスの排出削減にも寄与します。現在設備工事を実施しており、2017年11月完工の予定です。

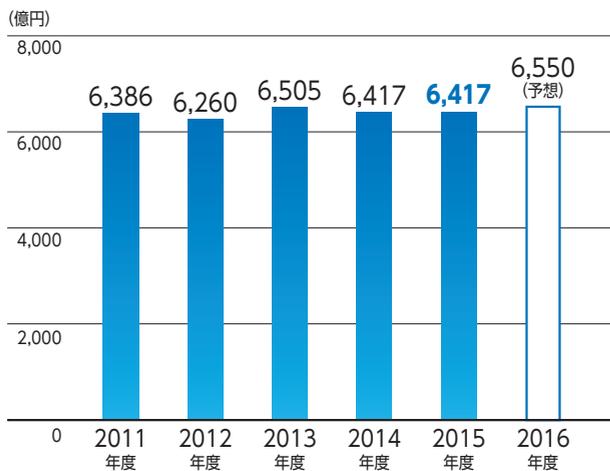


4 宇部マクセル(株)の「高機能・塗布型セパレータ」がトヨタ4代目「プリウス」に搭載

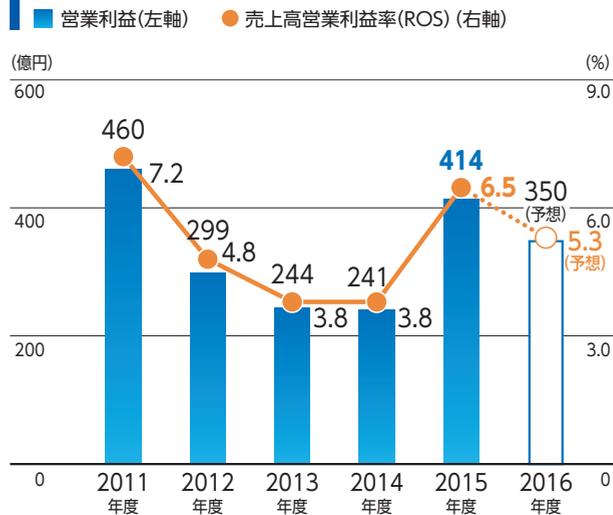
当社と日立マクセル(株)の合併会社である宇部マクセル(株)で製造している「高機能・塗布型セパレータ」が、トヨタ自動車(株)の4代目「プリウス」に搭載されているリチウムイオン電池に採用されました。「高機能・塗布型セパレータ」とは、当社のコスト競争力の優れたセパレータに、日立マクセル(株)の高度な塗工技術を使用して、宇部マクセル(株)が無機微粒子を塗布して製造したものです。高度な安全性や電池高温時の挙動安定性、高入出力特性などが高く評価され、今回の採用にいたしました。



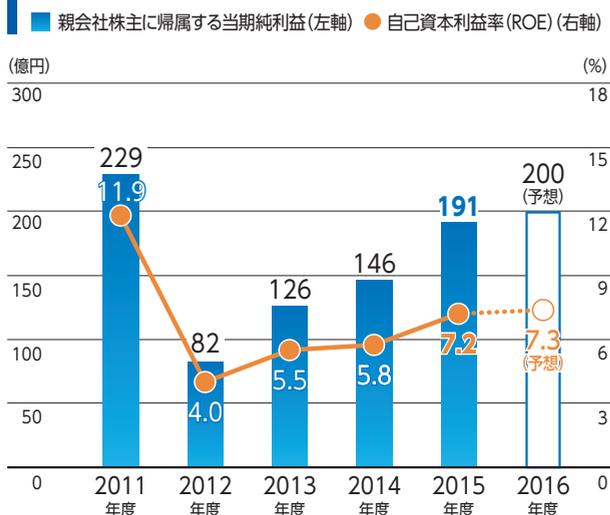
売上高



営業利益と売上高営業利益率 (ROS)

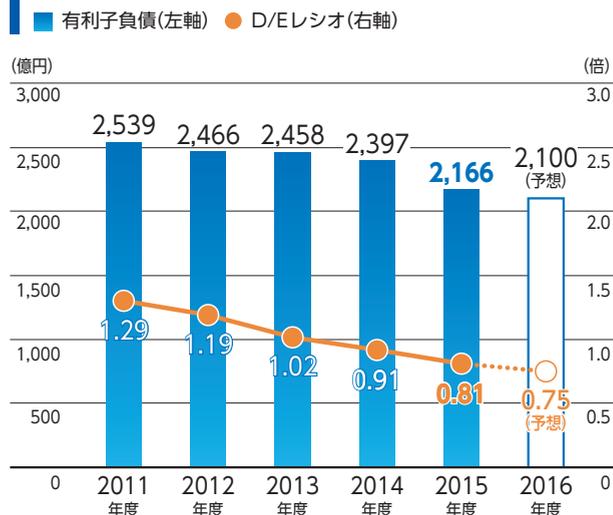


親会社株主に帰属する当期純利益と自己資本利益率 (ROE)*



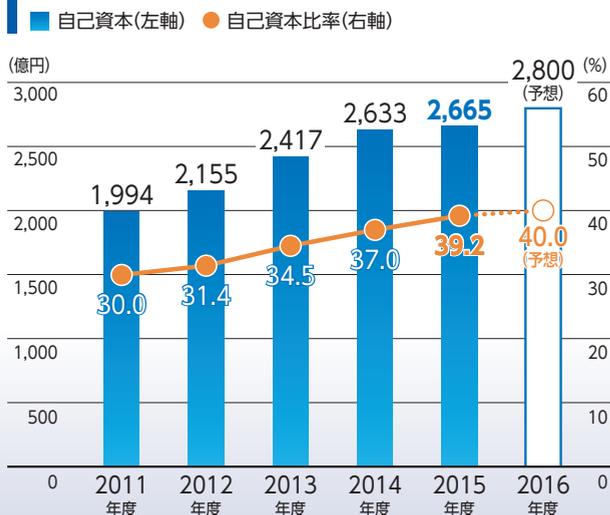
*自己資本利益率 (ROE) = 親会社株主に帰属する当期純利益 / 自己資本

有利子負債とD/Eレシオ*



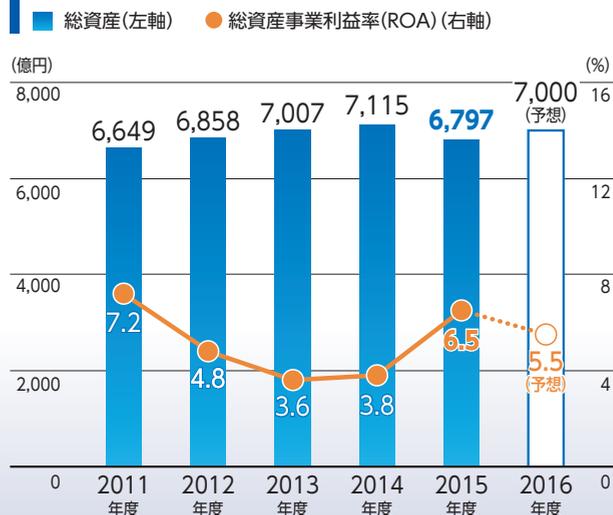
*D/Eレシオ = 有利子負債 / 自己資本

自己資本と自己資本比率*



*自己資本比率 = 自己資本 (=純資産 - 新株予約権 - 非支配株主持分) / 総資産

総資産と総資産事業利益率 (ROA)*



*総資産事業利益率 (ROA) = 事業利益 (=営業利益 + 受取利息 + 受取配当金 + 持分法投資損益) / 総資産

会社情報・株式情報

会社概要 (2016年3月31日現在)

設立	1942 (昭和17)年3月
資本金	58,434百万円
従業員数	3,693人 (連結 10,764人)
連結対象会社	93社 (連結子会社68社、持分法適用会社25社)
ホームページアドレス	http://www.ube.co.jp

役員 (2016年6月29日現在)

取締役

取締役会長	竹下 道夫
代表取締役社長	山本 謙
代表取締役	杉下 秀幸
取締役	松波 正
取締役(社外)	草間 高志
取締役(社外)	照井 恵光
取締役(社外)	庄田 隆
取締役(社外)	蔭山 真人

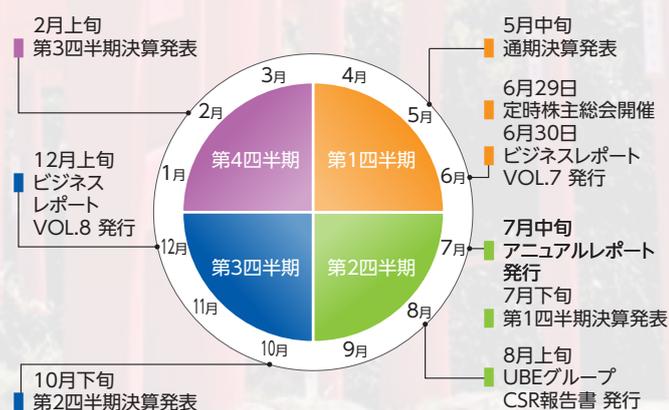
監査役

常勤監査役	三宅 節郎
常勤監査役	久保田 隆昌
監査役(社外)	落合 誠一
監査役(社外)	須田 美矢子



後列左から久保田、庄田、草間、照井、蔭山
前列左から三宅、杉下、竹下、山本、松波、須田、落合

IRカレンダー (2016年6月～2017年5月)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日より翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	毎年6月下旬開催
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告の方法	電子公告 (http://www.ube.co.jp)
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同連絡先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	証券会社の口座を開設されている株主様のお問い合わせ先	証券会社の口座を開設されていない株主様のお問い合わせ先
単元未満株式の買取・買増	お取引先の証券会社	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
住所・氏名などの変更		
株式の口座振替請求		
配当金受取り方法の指定		
未払配当金のお支払	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
その他株式事務について		

単元未満株式(当社では1~999株)の買取・買増について

当社株式の市場取引は1,000株単位となっております。単元未満株式をお持ちの場合、端数の株式が整理できる買取・買増制度を設けております。

買取請求とは

お持ちの単元未満株式を、当社に対して時価で売却することができる手続きです。

買増請求とは

お持ちの単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)となるように、当社に対して時価で単元未満株式の売り渡しを請求することができる手続きです。

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。

このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーのお届けをお願いいたします。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令にもとづき、支払調書に株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求等株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券口座にて株式を管理されている株主様

お取引の証券会社

証券会社とのお取引がない株主様

三井住友信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-782-031

宇部興産株式会社

東京本社 〒105-8449 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
宇部本社 〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96



※本ビジネスレポートに記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますをご承知おさください。

環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。